

平成30年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、◇要望、※その他

1. 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	2. 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	3. 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
<p>●「まちなか図書館」でありながら、図書館が3階にあることが、利用者にとって負担になっているのではないか。</p> <p>●図書館入館者数が年々減少している。</p> <p>●図書館の施設・設備のメンテナンスやセキュリティの向上が必要である。</p> <p>●広報「ほうふ」15日号の移動図書館の巡回日時掲載が無くなったため、新たな周知方法が必要。</p> <p>○市広報「ほうふ」や「ほうふとしょかんこどもしんぶん」等、様々な方法で、幅広い年齢や立場の人への効果的な広報活動ができています。更なる取組を望む。</p> <p>○国立国会図書館のデジタル資料送信サービスの利用が40件あり、導入の効果があつた。</p> <p>○レファレンス協同データベースへの登録は評価できる。</p> <p>○移動図書館や地域文庫は、図書館へ出向けない人にとって便利である。</p> <p>○移動図書館のコースやステーションの見直し、臨時出張サービスなどにより、利用者数が増加しており評価できる。</p> <p>○移動図書館車が地区イベントに出張するなど、積極的で臨機応変な対応は良い。PRを兼ねて更なるサービス向上に努めて欲しい。</p> <p>○研修効果により職員の対応が良くなった。</p> <p>○図書購入冊数と視聴覚資料の購入目標冊数が達成できており、評価できる。</p> <p>◇職員の計画的な研修と日々の実践によるレファレンス対応能力の向上を継続するよう望む。</p> <p>◇館外個人貸出冊数と貸出者数の数値を記入して欲しい。</p> <p>◇個人貸出者数の年齢階層別の人数や個人貸出冊数（一般）の分類別冊数を年報に出して欲しい。</p> <p>◇わっしょい文庫や地域文庫の場所に返却ボックスがあるとよい。</p>	<p>●子ども読書フェスティバルは、依然として子どもの集客が少ない。内容を再考して欲しい。</p> <p>●図書館ボランティア養成講座は、もう少し親しみやすい簡単な内容にして欲しい。</p> <p>●図書館まつりのマンネリ化が課題。従来のサークル活動展示の場所で、読み聞かせや図書館を使った調べる学習コンクールの展示をしてはどうか。</p> <p>●企画のマンネリ化打破のアイデアに期待する。</p> <p>○図書館まつりは、フリーマーケットと同時開催で集客しやすく、毎年、古本市も好評で評価できる。</p> <p>○子ども読書フェスティバルの参加者増が評価できる。その要因を分析して、今後につなげて欲しい。</p> <p>○子ども読書フェスティバルは、ボランティア団体と協議ができており評価できる。これからも協働し、盛り上げて欲しい。</p> <p>○今年の子ども読書フェスティバルのワークショップは大変盛り上がり周りの人も楽しめた。今後も多種多様な企画を期待する。</p> <p>○ボランティア養成講座への参加者は、年々微増している。今後もボランティアの養成に尽力を期待する。参加者に、館内の団体への入会を勧めたり、新しい団体を作ったりする提案があるとよいのではないか。</p> <p>○ボランティア養成講座とボランティア連絡会議の開催は、評価できる。</p> <p>◇ボランティア連絡会議で出された意見について簡単な報告をして欲しい。</p> <p>◇「こども図書館員」の声や、高校生・大学生の意見を取り込みながら、企画してはどうか。</p> <p>※「利用者懇談会」の記述がないことについて、コメントがあつたが、3-(1)に記載されている。</p>	<p>●展示場所が奥まっているので、関心のない人にも興味を持ってもらおうとよい。</p> <p>●ビブリオバトルのバトラー募集には回数を配慮すべき。学校の図書委員の協力や、中高生の参加を得ることが必要ではないか。</p> <p>○館内展示は、展示コーナーなどで数多く開催されているだけでなく、変化に富んで良くなっている。外部団体の展示では内容に即した本の紹介や関係する本の配架場所を案内するものがあれば更によい。</p> <p>○ビブリオバトルは、読書の楽しみを知るイベントとして定着し、参加者も増えており評価できる。更なる工夫を期待する。</p> <p>○ビブリオバトルがブラウジングコーナーで行われ、館内での催事が来館者に見える形で関心を呼んだ。</p> <p>○生涯学習グループの活動支援は、市広報やホームページへの掲載など、効果的で評価できる。</p> <p>◇ビブリオバトルを更に周知し、外での開催についても検討して欲しい。</p> <p>◇館内の展示コーナー等での展示について、市民や中高生の専用コーナーを設けるなどして、一般の方に月替わりで展示してもらおうと図書館の利用促進につながるのではないか。</p> <p>◇図書館利用者懇談会の参加者は少なくとも、図書館への関心が高い利用者だと思われるので、貴重な意見を聞いて、何かの参考にするためにも継続を要望する。</p> <p>◇イベントの広報に工夫を望む。</p> <p>※「子ども読書フェスティバル」の記述は、2に記載した。</p>

4. 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

- 郷土資料の収集は大変大事であるが、今後も、更に難しくなっていく情報収集や現物入手について、引き続き丁寧に、努力して欲しい。図書館まつりやホームページ等で地域資料の情報収集や図書の寄贈をPRしてはどうか。
- オリンピックまで1年となったので、国際関係の新しい資料の収集を進めて欲しい。
- 郷土資料が充実している。ホームページから探しやすい。
- 年々難しくなる郷土資料の収集について、昨年度以上の成果が見られるので、郷土資料の出版情報網が機能していると思われる、評価できる。
- 上山満之進没後80年展の開催は、評価できる。
- ◇郷土資料関係の職員研修の実施継続により、郷土関係資料に強い職員の養成を望む。
- ◇防府史料の刊行継続を望む。
- ◇上山満之進と三哲文庫の常設展示は、防府市にとって重要な展示であるだけに、今後もマンネリ化を防ぐための創意工夫を凝らした計画的な展示替えを期待する。
- ◇展示室常設展示は、上山満之進もよいが、もっと郷土から輩出された人々の展示を見たい。
- ◇地域の歴史・文化に触れるために、郷土出身の作家・芸術家をピックアップして、地元の人とのふれ合いから人物像等を掘り起こしてみてもどうか。

5. 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

- 財団内連携推進会議で出された議題が適正に実施されているか確認作業が必要。
- 各施設で連携を目的として開催された展示で客足が相互に盛り上がったかどうか確認する必要がある。例えば、ニコラ・テスラ展は面白かったが、図書館での展示に記憶がない。
- 学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの利用促進により、学校支援図書貸出冊数が倍増しており、学校図書館の活用にも繋がっている。学校支援図書については、今後も資料の充実・更新の継続を望む。
- 学校司書の研修支援や学校図書館との連携を評価する。
- 防府市文化振興財団の他施設と連携したイベント実施を評価する。今後も関係団体の企画とタイアップし、関係図書や資料の展示を望む。
- 市内の他の様々な文化施設との連携事業が進んでいる。今後も横のつながりを広げながら、今以上の取組を期待する。
- ◇司書教諭の研修は、小・中教研と図書館の連携のもと、今後も計画的な実施を望む。
- ◇学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの活用は、学校図書館にとって大きな成果につながるチャンスになる。山口県内の公立図書館をけん引するモデルケースになり、このシステムの普及を期待する。
- ◇今後も「調べる学習」の支援を期待する。

6. 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

- 「図書館を使った調べる学習コンクール」の周知と支援をもっと進めて欲しい。学校との協力はもちろんだが、図書館ができることを考えるべき。
- ボランティアの人材確保と養成も大変だと思われるが、計画的な取組をすべき。
- 親子読書が進むような企画を連携して進めるとよい。
- 子ども向けパスファインダーの作成が評価できる。
- 子ども図書館員の開催は評価できる。
- 新規企画として「出前おはなし会」、「絵本の読み聞かせ会」、「ミニビブリオバトル」は、遠方にある学校や園にとっては、大変ありがたい。図書館から出向くということも、積極的に大いに評価でき、継続を望む。保護者や生徒を子ども読書フェスに呼び込めるとよい。
- 職場体験・図書館見学等の受入等は、子どもたちに読書活動に対する興味・関心や意欲を高める上からも適切な事業である。
- ◇図書館職員やボランティアによるブックトークや本の紹介はとて評価できる。専門的な立場から、子どもたちに本の楽しさを伝えて欲しい。
- ◇出前講座としてミニビブリオバトルを各小学校で開催してはどうか。
- ◇現在、ルルサス1階は、テナント不在により空き店舗が目立つので、その場所に子ども図書コーナーができないか。

7. 障害者や高齢者に優しい図書館

- 障害者サービスは、ボランティアによるところが多いが、高齢化が懸念されるため、若者が参加しやすい環境を整備すべき。
- 高齢者サービスの一環として、音読教室や回想法等にもボランティアの協力を得てチャレンジして欲しい。
- 視覚障害者、高齢者のための資料を利用してもらうよう、積極的にPRすべき。郵送貸出等のサービスの広報も継続を望む。
- 障害者や高齢者にとって利用しやすい図書館を具体的に知る機会があると良い。
- リーフレット「障害者サービスのご案内」の作成は評価する。
- リーディングループ、リーディングトラックの導入は良かった。高齢者の読書離れの減少に繋がるとよい。
- 障害者や高齢者が利用しやすいよう、施設やサービスに工夫や努力が見られる。
- ◇移動図書館を障害者や高齢者のサービスにしっかり活用して欲しい。巡回時に利用者等の声を聞いてはどうか。
- ◇利用者統計で高齢者の利用状況を数値として明確にしたほうが良い。
- ◇福祉施設や高齢者施設でのブックトークの実施に期待する。
- ◇ルルサス 1 階に障害者や高齢者のためのコーナーができないか。

評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館資料収集要綱」に基づく資料の選書・収集と質・量両面の充実 ・図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊 ・視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点 ・適正な資料の組織化(分類・目録)、装備と利用しやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供 ・全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月) ・正確・迅速な貸出・返却業務、適正な予約・リクエスト受付業務の推進 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館資料収集要綱」に基づいて資料の選書・収集を実施 ・図書購入冊数13,846冊。内一般10,202冊、児童3,507冊、郷土関係93冊 ・視聴覚資料購入点数156点。内CD131点、DVD25点 ・適正な資料の組織化(分類・目録)、装備と利用しやすいOPAC(オンライン閲覧目録)を提供 ・全開架資料の蔵書点検を実施(10月2日・3日・4日、3月5日・6日・7日) ・貸出・返却・利用登録・予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂行 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通り実施できた。 	評価	B

(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的・効率的な運用によるサービスの強化 ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用 ・ホームページの整備、充実 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」への定期的な記事の掲載、地域コミュニティFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進 ・「平成29年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日) ・設備・備品の適正な維持管理と環境整備 ・的確な保安・警備・防犯対策の推進 ・危機管理体制の改善と整備 ・利用マナー啓発活動「マナーアップキャンペーン」(7月1日～8月31日)の実施
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・成人・青少年・児童(乳幼児)など、それぞれの世代等によって異なる利用目的に適應できるサービスを展開 ・H30年度館外個人貸出冊数585,667冊、館外個人貸出者数152,950人 ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等についてホームページ上で紹介 ・ホームページの内容を随時更新 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行、市広報「ほうふ」へ定期的に記事を掲載、地域コミュニティFMラジオ(FMわっしょい「防府市からのお知らせ」)に毎月第2・4木曜日、同局のビブリオバトル告知番組に3回)や山口ケーブルテレビジョン(「まちかどNEWS」5月25日)に出演 ・平成29年度「図書館年報」(一般用)・「数字で見る防府図書館」(子ども用)を発行(5月31日) ・設備・備品の点検と修理を随時実施 ・保安・警備・防犯対策の一環として、施設管理会社との定期協議を毎月開催 ・図書館独自の消防訓練(10月4日、3月7日)と普通救命講習(2月5日)を実施、ルルサス防府消防避難訓練(10月18日、3月14日)に参加 ・利用マナー啓発活動「マナーアップキャンペーン」(7月1日～8月31日)を実施

課題等	・図書館施設に係るセキュリティの不備改善と、経年劣化しつつある設備のメンテナンス		
自己評価	・図書館施設のセキュリティという点では不安な一面もあるが、広報活動については概ね計画通り実施できた。	評価	B
(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
H30年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回する移動図書館運営業務の推進 ・コース・ステーション等の半年毎の見直し 		
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーション(4月より新ステーションとして西浦小学校を増)2週間に1回の周期で運行するとともに、「二輪の桜祭り」・「みんな集まれ！はたらく車展」・「防府市緑花祭」・「西浦まつり」・「大道まつり」で臨時出張サービスを実施 ・コース・ステーション等を見直し、31年度より1ステーション変更(自由が丘中央公園→サンマート右田)することを決定 		
課題等	・移動図書館ステーションの利用度格差の拡大		
自己評価	・計画通り実施し、貸出冊数・貸出者数ともに増加した。	評価	A
(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
H30年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施 		
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを実施 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」について、ちらしやホームページ上で紹介するとともに、6月25日付でレファレンス協同データベースに参加館登録 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを実施 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等を作成・整備 ・利用者とのより良いコミュニケーションを図るため、レファレンス研修に参加 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスを実施 		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上		
自己評価	・計画通り実施できた。	評価	A

【図書館協議会の意見(案)】

- 1-(1)図書・視聴覚資料の購入目標が達成できており、評価できる。
- 1-(2)入館者数が年々減少している。施設・設備のメンテナンスや整備が必要である。
- 1-(2)様々な方法で、幅広く効果的な広報活動ができています。
- 1-(3)移動図書館の地域イベントへの出張サービスなどによる利用者増は評価できる。更なるサービスの向上やPRに努めて欲しい。
- 1-(3)移動図書館や地域文庫は、図書館へ出向けない人にとって便利である。返却ボックスもあるとよい。
- 1-(4)レファレンス協同データベースへの登録は評価できる。職員の計画的な研修と実践によるレファレンス対応能力の向上を望む。
- 1-(4)国立国会図書館のデジタル資料送信サービス導入の効果が見られた。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

H30年度 事業計画	・第8回防府市子ども読書フェスティバル(5月27日)、第28回防府図書館まつり(10月20日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
事業実施 状況	・実行委員会、ボランティア団体等と協働で、第8回防府市子ども読書フェスティバルを5月27日(参加者数304人)に、第28回防府図書館まつりを10月20日(参加者数3,500人)に開催		
課題等	・企画のマンネリ化打破と参加者数を増やす方策		
自己評価	・概ね計画通りに実施できた。	評価	B

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

H30年度 事業計画	・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ)		
事業実施 状況	・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(1月24日)し、現状と課題について意見交換(参加者数17人) ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月7日)参加者数18人、(2月14日)参加者数40人、(2月21日)参加者数23人、(2月28日)参加者数28人		
課題等	・新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 2-(1)子ども読書フェスティバルは、ボランティア団体との協働ができており、参加者の増加も評価できる。子どもの参加が少ないため、今後の企画に期待する。
- 2-(1)図書館まつりは、フリーマーケットと同時開催で集客しやすく、毎年、古本市も好評で評価できる。
- 2-(1)課題の企画のマンネリ化については、「こども図書館員」の声や、高校生・大学生の意見を取り込みながら、企画してはどうか。
- 2-(2)図書館ボランティア養成講座は、参加者が年々微増している。今後もボランティアの養成や新規の会員・団体の増加に尽力を期待する。もう少し親しみやすい簡単な内容にして欲しい。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回防府市子ども読書フェスティバル(5月27日)において、元福音館書店編集長の松本徹氏による講演会を開催 ・防府図書館ビブリオバトルの開催(5月・7月・11月の3回) ・防府図書館利用者懇談会の開催(12月) ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回防府市子ども読書フェスティバル(5月27日)において、元福音館書店編集長の松本徹氏による講演会を開催 ・防府図書館ビブリオバトルを5月27日(参加者数76人)、7月22日(参加者数14人)、11月12日(参加者数51人)に開催 ・防府図書館利用者懇談会を11月29日に開催(参加者数13人) ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示を36回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を53回実施 ・新規企画として12月15日に「クリスマスおはなし会」を開催 		
課題等	・ビブリオバトルの開催時期と展示内容の工夫		
自己評価	・計画通り実施できた。	評価	A

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

H30年度 事業計画	・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進		
事業実施 状況	・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等を提供し、ボランティア、学習サークル等の活動をホームページ上で紹介		
課題等	・グループ数や会員数を増やす方策		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 3-(1)館内展示は、数多く開催されているだけでなく、変化に富んで良くなっている。外部団体の展示には内容に即した本の紹介や関係する本の配架場所を案内するものがあれば更によい。
- 3-(1)市民や中高生の専用コーナーを設けるなどして、一般の方に月替わりで展示してもらおうと図書館の利用促進につながるのではないか。
- 3-(1)ビブリオバトルがブラウジングコーナーで行われ、来館者に見える形で関心と呼んだ。読書の楽しみを知るイベントとして定着し、参加者も増えており評価できる。館外での開催など更なる周知・工夫を期待する。
- 3-(1)ビブリオバトルのバトラー募集には回数を配慮すべき。学校の図書委員の協力や、中高生の参加を得ることが必要ではないか
- 3-(2)生涯学習グループの活動支援は、市広報やホームページへの掲載など、効果的で評価できる。
- 3-(2)図書館利用者懇談会の参加者は少なくとも、図書館への関心が高い利用者だと思われるので、継続を要望する。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H30年度事業計画	・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊		
事業実施状況	・地域資料、特に防府市関係資料についての情報を収集し、多岐にわたる分野の資料を収集 ・年間郷土資料収集目標冊数551冊(購入冊数93冊、寄贈冊数458冊)		
課題等	・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立		
自己評価	・郷土関係資料の購入は若干目標(100冊)に届かず、受贈図書でこれを補った。	評価	B

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

H30年度事業計画	・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ・「上山満之進没後80年展」の防府市教育委員会との共催(5月2日～28日・於アスピラート) ・防府史料第68集『近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』下巻(若月保治・著)の刊行とホームページへの掲載(3月)		
事業実施状況	・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」を一部展示替え ・「上山満之進没後80年展」を防府市教育委員会と共催(5月2日～28日・於アスピラート) ・防府史料第68集『近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』下巻(若月保治・著)を3月31日付で刊行し、ホームページへ掲載		
課題等	・郷土史、郷土文学に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H30年度事業計画	・春川市立図書館との資料交換と整理・提供・保存(年1回、100冊程度交換)		
事業実施状況	・春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受贈登録し、春川市立図書館へ図書100冊を寄贈		
課題等	・外国語、外国文化に関する職員研修		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 4-(1)郷土資料の収集は、昨年度以上の成果が見られるので、郷土資料の出版情報網が機能していると思われ、評価できる。更に難しくなっていく情報収集や入手について、引き続き丁寧に、努力して欲しい。図書館まつりやホームページ等で地域資料の情報収集や図書の寄贈をPRしてはどうか。
- 4-(1)郷土資料が充実しており、ホームページからも探しやすい。
- 4-(2)郷土資料関係の職員研修の実施継続により、郷土関係資料に強い職員の養成を望む。
- 4-(2)上山満之進没後80年展の開催は、評価できる。上山満之進と三哲文庫の常設展示は、今後もマンネリ化を防ぐための創意工夫を凝らした計画的な展示替えを期待する。
- 4-(2)地域の歴史・文化に触れるために、郷土出身の人物についての展示を企画し、人物像等を掘り起こしてみてもどうか。
- 4-(2)防府史料の刊行継続を望む。
- 4-(3)オリンピックまで1年となったので、国際関係の新しい資料の収集を進めて欲しい。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1)学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館			
H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ・地域文庫事業・貸出文庫事業の推進 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出(件数256件・冊数3,069冊) ・学校司書の研修の機会や場を随時提供 ・地域文庫事業・貸出文庫事業を運営 		
課題等	・学校図書館とのネットワークシステムの有効活用		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B
(2)他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館			
H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・研修活動等の推進 ・博物館や文書館との連携強化 ・財団内連携推進会議の開催(毎月1回) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 ・山頭火ふるさと館との連携推進 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の図書館と資料相互貸借(貸出1,088冊・借用798冊)・レファレンス協力・研修活動等を実施 ・博物館や文書館とネットワークを通じてMLA連携 ・毎月1回財団内連携推進会議を開催し、連携事業について検討・協議 ・文化事業との連携事業として、アスピラート開館20周年記念企画(「マイメロディ♡・キキ&ララ☆展」・「山下清とその仲間たちの作品展」)に合わせて関連資料を展示 ・科学事業との連携事業として、ソラール開館20周年記念企画(「ニンニン忍者展～忍びの学び! ニンジャ道場～」・「ネイチャーテクノロジー展～自然のミカタ×未来のミカタ～」・「ニコラ・テスラ展～エジソンのライバルと言われたセルビアの天才発明家～」)に合わせて関連資料を展示 ・山頭火ふるさと館との連携事業として、山頭火の「今月の一句」と解説を展示 		
課題等	・県内外の図書館等との連携強化		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 5-(1)学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの利用促進により、学校支援図書貸出冊数が倍増しており、学校図書館の活用にも繋がっている。学校支援図書については、今後も「調べる学習」の支援のため、資料の充実・更新の継続を望む。
- 5-(1)学校司書の研修支援や学校図書館との連携を評価する。
- 5-(1)司書教諭の研修は、小・中教研と図書館の連携のもと、今後も計画的な実施を望む。
- 5-(2)防府市文化振興財団の他施設と連携したイベント実施を評価する。今後も連携の効果や課題を検証しつつ、関係団体の企画とタイアップし、関係図書や資料の展示を望む。
- 5-(2)市内の他の様々な文化施設との連携事業が進んでいる。今後も横のつながりを広げながら、今以上の取組を期待する。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館員の開催(8月2回) ・「第6回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・出前講座・出張イベント等の開催 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館員を2回(8月6日・8月10日)開催 ・「第6回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」(募集期間8月1日～9月30日)を防府市教育委員会と共催(応募作品数:小学生60、中学生11) ・職場体験・図書館見学等を受入(職場体験:21件68人、図書館見学:9件574人) ・新規企画として、毎月第3日曜(家庭の日)にイオン防府店で「ほうふとしょかん出前おはなし会」を開催 ・小野小学校に出張し、2年生対象に「ミニビブリオバトル」(7月14日)を、「子ども家庭支援センター”海北”」(11月16日)に出張し、絵本の読み聞かせ会を開催 		
課題等	・中学生に対する「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」への参加奨励		
自己評価	・計画通り実施できた。	評価	A

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの連携・協働について関係者と随時情報交換 ・毎月2回のボランティア主催行事「おはなしでんしゃ」、「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会(6月15日、11月26日、2月28日)において、図書館職員のブックトーク等を実施 		
課題等	・ボランティアとの協働事業の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 6-(1)新規企画として「出前おはなし会」、「絵本の読み聞かせ会」、「ミニビブリオバトル」は、遠方にある学校や園にとっては、大変ありがたい。図書館から出向くということも、積極的で大いに評価でき、継続を望む。親子読書が進むような企画を連携して進めるとよい。
- 6-(1)職場体験・図書館見学等の受入等は、子どもたちに読書活動に対する興味・関心や意欲を高める上からも適切な事業である。
- 6-(1)「図書館を使った調べる学習コンクール」の周知と支援について、学校との協力はもちろんだが、図書館ができることを考えて進めて欲しい。
- 6-(1)子ども向けパスファインダーの作成、子ども図書館員の開催は評価できる。
- 6-(1)図書館職員やボランティアによるブックトークや本の紹介はとても評価できる。専門的な立場から、子どもたちに本の楽しさを伝えて欲しい。
- 6-(1)ルルサス1階の空き店舗を子どもの読書に活用できないだろうか。
- 6-(2)ボランティアの人材確保と養成も大変だと思われるが、計画的な取組をすべき。

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、障害者福祉施設や高齢者福祉施設を2週間に1回の周期で巡回 ・点字・大活字本等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、障害者福祉施設や高齢者福祉施設(3ステーション)を2週間に1回の周期で巡回 ・点字・大活字本等を収集・整備 ・視覚障害者用音声付インターネットサービスについて、リーフレット(「防府図書館障害者サービスのご案内」)を作成し、ホームページ上でも紹介 		
課題等	・障害者や高齢者の図書館利用促進		
自己評価	・計画通り実施できた。	評価	A

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に 行う図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・音声資料の整備・充実 ・郵送貸出・対面朗読サービス等の活用による障害者・高齢者の図書館利用の促進 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・音声資料を収集・整備 ・リーディングルーベ・リーディングトラック・助聴器を導入 ・郵送貸出(41件130冊)・対面朗読サービス(0件) 		
課題等	・障害者・高齢者向けサービス周知のための広報		
自己評価	・計画通り実施できた。	評価	A

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H30年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体との連携・協力による、障害者・高齢者のための資料の収集・提供 ・認知症に優しい図書館となるためのボランティア団体等との連携・協力 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・点字ボランティア「青い鳥の会」の協力により、リーフレット「防府図書館障害者サービスのご案内」の点字版を発刊(3月) ・福祉施設や高齢者施設でのブックトーク実施に向けて館内で検討 		
課題等	・次世代を担うボランティアの育成		
自己評価	・概ね計画通りに実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 7-(1)障害者や高齢者が利用しやすいよう、施設やサービスに工夫や努力が見られる。障害者や高齢者にとって利用しやすい図書館を具体的に知る機会があると良い。また、利用者統計で高齢者の利用状況を数値として明確にしたほうが良い。
- 7-(1)移動図書館を障害者や高齢者のサービスにしっかり活用して欲しい。巡回時に利用者等の声を聞いてはどうか。
- 7-(1)福祉施設や高齢者施設でのブックトークの実施に期待する。
- 7-(1)ルルサス1階の空き店舗を障害者や高齢者のために活用できないだろうか。
- 7-(1)(2)リーフレット「障害者サービスのご案内」の作成は評価する。視覚障害者、高齢者のための資料を利用してもらうよう、積極的にPRすべき。郵送貸出等のサービスの広報も継続を望む。
- 7-(2)高齢者サービスの一環として、音読教室や回想法等にもボランティアの協力を得てチャレンジして欲しい。
- 7-(2)リーディングルーペ、リーディングトラックの導入は良かった。高齢者の読書離れの減少に繋がるとよい。
- 7-(3)障害者サービスは、ボランティアによるところが多いが、高齢化が懸念されるため、若者が参加しやすい環境を整備すべき。

防府市立防府図書館個人館外貸出状況

平成30年度年齢別利用者数

年齢	登録者数	貸出者数 (のべ人数)	貸出冊数
0-6	994	4,647	24,532
7-12	3,504	15,006	68,074
13-15	1,805	2,596	9,739
16-18	2,448	2,068	6,413
19-22	2,422	2,398	8,471
23-30	3,778	5,258	18,033
31-40	5,648	21,265	93,059
41-50	6,250	26,396	103,372
51-65	5,505	34,079	114,636
66-	6,100	39,237	139,338
合計	38,454	152,950	585,667

平成30年度分類別貸出冊数

	分類	冊数
一般書	0類 (総記)	4,756
	1類 (哲学)	16,341
	2類 (歴史)	22,609
	3類 (社会科学)	30,106
	4類 (自然科学)	22,698
	5類 (技術.工学)	50,027
	6類 (産業)	11,954
	7類 (芸術.美術)	24,338
	8類 (言語)	5,075
	9類 (文学)	137,828
		計
児童書	0-8類	49,719
	9類	44,203
	E (絵本)	97,890
	紙芝居	3,075
	計	194,887
	雑誌	40,742
	郷土資料	4,834
	外国語の図書	592
	点字資料	21
	視聴覚資料	18,859
合計		585,667